



THE WTC NEWSLETTER

Feb. 2018

- TAKING YOU TO THE TOP -

2月のカナダにはふたつの特別な祝日があります。バレンタインデーとファミリーデーです！バレンタインデーはここカナダでも2月14日に祝われ、恋人たちにとって特別な一日となっています。世界中で行われているように、バレンタインデーには人々がそれぞれの大切な人にチョコレートや花などのギフトを通して、愛を伝える機会でもあります。

ファミリーデーはカナダで法定されている休日、オンタリオ州では2月の第三月曜日に設定されています。当初は人々が家族と過ごすための休日として、1990年に初めて施行されました。現在でもそういった意味合いはもち

ろん、リラックスするための休日として人々は楽しんでます。そんなファミリーデーは今月19日。どうぞ大切な人とゆったりと充実した時間を過ごしてくださいね。

FEBRUARY

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

■ Program Start Date
□ Holiday

トロントの人々はみんなフレンドリーでやさしい人が本当に多いです。私たち留学生が英語を間違えたり何か失敗しても、それを笑うような人は居ないし、親切に教えてくれる人ばかりです。私はやさしくて親切な先生が多いWTCで勉強できて本当に良かったと思っていますし、これからのトロントでの生活の基盤を築くことができたとと思います。また、トロントは想像以上に多文化で、毎日刺激があつて充実しています。きっとこれからも英語が思い描くようにスラスラ話せなくてもどかしいこともあるだろうし、それが原因で落ち込んだり嫌な気持ちになることもあると思います。でもきっとその何倍も素敵な経験が待っていると信じて、これからも頑張ります。



▲ クラスメイトや先生たちと過ごした大切な時間と絆

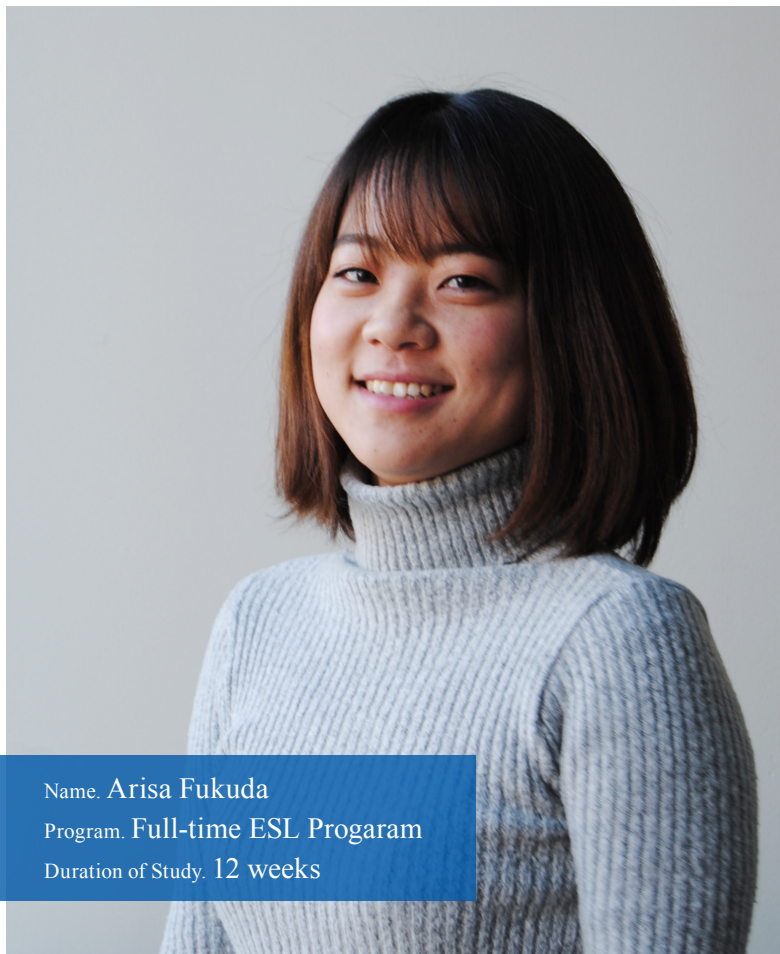


▲ 友達と観戦にいったアイスホッケーはスリル満点！

“ 分からないことは、とにかく聞く！ ”

当然のことですが、授業もクラスメイトと話す時も、学校内ではとにかくすべてが英語。初めの頃は授業に着いていだけでも精一杯でした。文法は理解するのに自分の言いたいことを伝えられない、意見を上手く表現できないことや、ポキャブラリーの少なさに毎日落ち込んでいましたし、それは今でもあります。また、授業の中ではこれまであまりやってこなかったプレゼンテーションをする機会もたくさんあり、準備や発表についてもすごく苦労しました。

私が重要だと感じたことは、分からないことがあればその都度遠慮せずに聞く！ということです。先生たちは不十分な英語でも理解しようとしてくれるので、恥ずかしがらずに何でも聞くこと。それが授業中であろうと、休憩時間であろうと、文法・フレーズ・単語など何であろうと、分かるまで聞くこと。私も日本の教育環境で育ってきたので、授業を受ける姿勢がこんなにも違うんだと思ったことも印象的でした。日本の学校では積極的に質問したり発言すると、周りからすこし浮いて見られたり、分からないことがあっても授業を止めてはいけないうと思って質問しなかったり、自己解決しようとする人が多いんじゃないかなと思います。でも、この学校では「誰かが分からないことは皆で共有して、皆で学ぶ」という雰囲気があつて、私も楽しく積極的にたくさん質問することができました。実際に友達が質問していることから学べることも多くありました。また私が現在、絶賛挑戦中なのが、単語を覚える上で「Synonyms(類語)」も意識して覚えていくことです。分からない単語に出会った時に、そのものだけでなく、似た表現や近い意味合いの単語を同時に覚えるようにしています。やっぱり語彙力は会話をする上でとても大切です！



Name. Arisa Fukuda
Program. Full-time ESL Program
Duration of Study. 12 weeks